

【最終確定版】第28回大会学術大会プログラム

□ 日本台湾学会学術大会分科会プログラム

時間帯	6205 教室	6206 教室	6405 教室	6406 教室
I 9:30 ～ 11:20	第1分科会 自由論題 (教育史/建築・ 都市史)	第2分科会 自由論題 (歴史学/社会 史)	第3分科会 企画 (政治史)	第4分科会 自由論題 (文学/歴史学)
II 12:30 ～ 14:20	第5分科会 自由論題 (社会言語学/言語 政策)	第6分科会 自由論題 (社会学/政治思想 史)	第7分科会 自由論題 (法社会学/社会史)	第8分科会 自由論題 (文学/人類学)
III 14:40 ～ 16:30	第9分科会 企画 (教育学/社会学)	第10分科会 自由論題 (環境政策/環境社 会学)		第11分科会 自由論題 (文学/文化複合 領域)

《第I部 9:30～11:20》

◇第1分科会(教育史/建築・都市史) 自由論題

◎座長：上水流久彦(県立広島大学)

◎報告：

・陳虹姘(平安女学院大学)

「学校文書にみる終戦直後台湾の初等学校運営—政権移行期の教育現場に着目して—」

・三文字昌也(東京大学/東京芸術大学)

「台南市中西区に残る民国前11年築の閩南式建築の調査報告

—日本統治時代および戦後における閩南式建築とその周辺環境の改変を読み解く—」

◎コメンテーター：山崎直也(帝京大学)、菊地暁(京都大学)

◇第2分科会(歴史学/社会史) 自由論題

◎座長：鶴園裕基(香川大学)

◎報告：

・福田栞(一橋大学・院生)・松葉隼(福岡大学)

「個人資料から見た「台湾経験」の諸相：磯部正男における美術を通じた戦前・戦後の連続と台湾「再会」」

・樋口祐熙(一橋大学修士・台湾引揚者研究)

「戦後日本における台湾からの引揚者の記憶の在り方—世代の視点から—」

◎コメンテーター：角南聡一郎(神奈川大学)、游乃蕙(国立歴史民俗博物館)

◇第3分科会(政治史) 1セッション企画

◎企画責任者：五十嵐隆幸（目白大学）

◎座長：五十嵐隆幸（目白大学）

◎報告：

・黄美恵（中国文化大学）

「日台間における懸案解決—90年代台湾に対する戦後処理問題と「確定債務」をめぐる日本政府の取組」

・岡野（葉）翔太（神戸大学）

「承認されていた存在から、非承認の存在へ——親中華民国派華僑団体から見る断交後の日華関係（1972-80年代）」

◎コメンテーター：菅野敦志（共立女子大学）、前原志保（武雄アジア大学）

◇第4分科会(文学／歴史学) 自由論題

◎座長：豊田周子(名城大学)

◎報告：

・和泉司(東洋大学)

「邱永漢の単行本未収録小説についての分析-『中学一年コース』掲載「ヤシの実ひとつ」(1960-61)を中心に」

・富田哲(淡江大学)

「「マスコミの王様」大宅壮一が語った台湾—『黄色い革命』(1961)」

◎コメンテーター：張文菁（愛知県立大学）

《第Ⅱ部 12:30～14:20 》

◇第5分科会(社会言語学／言語政策) 自由論題

◎座長：中川仁(明海大学)

◎報告：

・吉田真悟(一橋大学)

「「国家言語発展法」の理念—2023年「国家言語発展報告」の分析から」

・呉素汝(東海大学〈TUNG HAI UNIVERSITY〉)

「台湾桃園市の中壢駅前「中平商圈」における多言語景観に見られる特徴」

◎コメンテーター：藤井久美子（東洋大学）、林初梅（大阪大学）

◇第6分科会(社会学／政治思想史) 自由論題

◎座長：清水麗(麗澤大学)

◎報告：

・劉承衛(筑波大学・院生)

「権威主義体制下の台湾言論界の日本認識—『自由中国』を中心に—」

・野嶋剛（大東文化大学）

「日本における「台湾」をめぐる「語り」の変化—メディアの台湾報道の検証から—」

◎コメンテーター：今井淳雄(天理大学)、劉彦甫(東洋経済新報社／一橋大学・院生)

◇第7分科会(法社会学/社会史) 自由論題

◎座長：八尾祥平（ノートルダム清心女子大学）

◎報告：

・許仁碩（北海道大学）

「日本の植民地統治下台湾における社会運動への越境ポリシング」

・郭書瑜（一橋大学・院生）

「戦後日本におけるもう一つの台湾——来日台湾人支援運動と台湾政治犯救援運動における植民地台湾経験者のまなざし」

◎コメンテーター：林政佑（中央研究院台湾史研究所）、浅野豊美（早稲田大学）

◇第8分科会(文学/人類学) 自由論題

◎座長：唐顥芸（同志社大学）

◎報告：

・劉夏禹（一橋大学・院生）

「巫永福の小説「首と体」における都市表現とその機能」

・沼崎一郎（東北大学）

「インペリアルな台湾想像からポストコロニアルな台湾再想像へ——佐藤春夫『台湾小説集』と瀟湘神『殖民地之旅』を比較して」

◎コメンテーター：謝恵貞（文藻外語大学）、阮文雅（東呉大学）

《第Ⅲ部 14:40～16:30》

◇第9分科会(教育学/社会学) 1セッション企画

台湾の教育改革と社区营造の融合 公民教育と市民参加

◎企画責任者：星純子（茨城大学）

◎座長：許仁碩（北海道大学）

◎報告：

・星純子（茨城大学）

「台湾の校訂課程における社区营造の参入とその帰結：高雄市美濃区の小学校を例に」

・山崎直也（帝京大学）

「台湾の教育課程改革と学校—社会関係の再編」

◎コメンテーター：石井佳奈子（立正大学）、日暮トモ子（日本大学）

◇第10分科会(環境政策/環境社会学) 自由論題

◎座長：清水麗（麗澤大学）

◎報告：

・寺尾忠能（日本貿易振興機構アジア経済研究所）

「台湾の環境政策の形成過程における技術官僚の役割」

・陳威志（国立中山大学）

「台湾における原発反対運動の転換期の担い手たち—運動がなぜ・どのように継続されたのか？」

◎コメンテーター：松本充豊（京都女子大学）、田畠真弓（専修大学）

◇第 11 分科会(文学／文化複合領域) 自由論題

◎座長：豊田周子（名城大学）

◎報告：

・橋本恭子（日本社会事業大学）

「台湾のホームレス・貧困支援における人文的アプローチ」

・李哲宇（名古屋大学・院生）

「連帯の「場」としての俳句会—「台北春燈句会」の発足と加藤山椒魚の指導期間を中心に—」

◎コメンテーター：佐々木孝子（早稲田大学）、岡崎郁子（吉備国際大学）